

富士のさと人通信

発行所

(独)国立青少年教育振興機構
国立中央青少年交流の家
電話：0550-89-2020
メール：fujinosato@niye.go.jp

富士山麓の魅力と安全対策を学ぶ

実技研修を実施



令和七年五月一日（木）、交流の家は、富士山の自然ガイド団体「やまぼうし」（以下、「やまぼうし」と連携し、富士山須走口五合目にて「富士山麓トレッキング実技研修会」を実施した。当日は晴天に恵まれ、絶好の研修日和となった。交流の家では、宿泊研修に向けた事前調整の一环として、富士山麓でのトレッキングを希望する利用団体に対し、参加者の状況やスケジュールに応じたコースを提案している。今回の研修では、やまぼうしと合同で、実際にトレッキングコースを踏査しながら、歩行時の負荷や経路上の危険箇所等を現地で確認した。また、利用団

体を安全に引率するために必要な配慮事項や指導内容について、両団体で認識を共有した。

天候が安定していたこともあり、快適な環境のもとで研修を進めることができ、トレッキング実施時に必要となる判断基準や対応策について、より実践的な視点で確認する機会となった。

今後も、富士山麓でのトレッキングを安全かつ安心して実施できるよう、実施方法や情報共有の在り方について継続的に見直し、徹底していく方針である。

陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地と協定を締結

交流の家は陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地と、令和七年四月二十二日（火）に災害対処等の施設利用に関する協定を締結した。交流の家からは藤原一成所長、陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地からは山口勝司令が出席した。

この協定は、大規模災害等発生時に滝ヶ原駐屯地を拠点として活動する部隊を全国から受け入れる際、駐屯地の受け入れ許容人数を超える場合に、交流の家を災害等対処のため隊員の宿泊施設等として利用するというものである。

今後も交流の家は災害への対処活動の支援等で、国立青少年教育施設に求められている広域防災補完拠点としての役割をしっかりと果たしていくこととしている。



山口司令（写真左）と藤原所長（写真右）

【特集】統計データ

令和6年度都道府県別延利用団体数

①静岡県 …959	⑤千葉県…22
②神奈川県…242	⑥愛知県…19
③東京都 …193	⑦北海道…10
④山梨県 …38	その他計…54

【PR】
交流の家では、毎日公式「Instagram」で日々の情報を発信しています。ぜひフォローしてください！



〓編集後記〓
交流の家の近況を多くの方々にお届けするため、本誌を刊行する運びとなりました。四半期ごとの主だったトピックをまとめ、発信していきますので、ご意見、ご感想などをお寄せいただけますと幸いです。（寛）